

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 大 福

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 繁樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小倉 賢一

TEL 092-962-9200

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,734	—	226	—	223	—	81	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 75百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	54.62	—
24年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,465	2,132	25.2
24年3月期	8,156	2,130	26.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,132百万円 24年3月期 2,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,679	40.5	577	0.5	572	△1.0	213	△29.3	143.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名)
 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期から減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	1,485,900 株	24年3月期	1,485,900 株
25年3月期2Q	294 株	24年3月期	294 株
25年3月期2Q	1,485,606 株	24年3月期2Q	1,485,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
四半期損益計算書	11
四半期キャッシュ・フロー計算書	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要や、エコカー補助金等の政策効果などにより緩やかな回復基調にあったものの、欧州の債務問題などを背景とする世界経済の減速や円高の長期化、消費税率引き上げ法案の可決などにより、先行きは依然として不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループが主に属する調剤薬局・医薬品業界におきましては、平成24年4月に薬価の引下げ（平均6.0%）及び調剤報酬の引上げ（0.5%）が実施され、引き続き厳しい状況となっております。

こうした環境の中、当社グループは、調剤薬局事業ではレセプトコンピューターの新機種導入、メディカルサポート事業では医薬品卸及び給食に係る販売管理システムの入替えなどを順次実施しております。また、平成24年9月に本社ビルが完成し、同年10月に当社及び連結子会社の事務所を移転して本社機能を集約することにより、さらなる業務の効率化によるコスト削減を図り、収益性の向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,734百万円、営業利益は226百万円、経常利益は223百万円、四半期純利益は81百万円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①調剤薬局事業

当第2四半期連結累計期間において1店舗を新規開局したことや既存店舗で処方箋枚数が堅調に推移したことから、売上高は3,418百万円となり、セグメント利益は429百万円となりました。

②メディカルサポート事業

当第2四半期連結累計期間において病院との医薬品卸売契約及び給食業務受託契約を獲得したことから、売上高は2,315百万円となり、セグメント利益は3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,667百万円となり、前連結会計年度末残高4,588百万円に対し79百万円増加しました。これは主として、金融機関から新規借入れて資金を調達したことなどにより現金及び預金が188百万円増加した一方で、売上債権の回収により売掛金が146百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,797百万円となり、前連結会計年度末残高3,567百万円に対し230百万円増加しました。これは主として、本社ビルや新規開局店舗の建物等を取得したことにより建物及び構築物が232百万円、投資不動産が77百万円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが132百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,401百万円となり、前連結会計年度末残高3,488百万円に対し87百万円減少しました。これは主として、短期借入金金が322百万円減少した一方で、本社ビルの取得に伴う未払金など流動負債のその他が268百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は2,932百万円となり、前連結会計年度末残高2,536百万円に対し395百万円増加しました。これは主として、新規借入等により長期借入金が401百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,132百万円となり、前連結会計年度末残高2,130百万円に対し1百万円増加しました。これは主として、四半期純利益の計上額と配当金の支払額との差額により利益剰余金が6百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が5百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ188百万円増加し、2,323百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、338百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が231百万円、減価償却費が67百万円、のれん償却額が132百万円、売上債権の減少額が146百万円あった一方で、たな卸資産の増加額が52百万円、法人税等の支払額が201百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、143百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が143百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、5百万円となりました。これは主として、短期借入金280百万円減少し、長期借入金の返済による支出が240百万円、配当金の支払額が74百万円あった一方で、長期借入れによる収入が600百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,134	2,323
売掛金	2,143	1,996
たな卸資産	164	216
その他	147	132
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	4,588	4,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	715	948
土地	998	998
その他(純額)	113	176
有形固定資産合計	1,827	2,123
無形固定資産		
のれん	1,019	887
その他	40	41
無形固定資産合計	1,060	929
投資その他の資産		
投資有価証券	123	106
投資不動産(純額)	277	355
その他	279	285
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	679	745
固定資産合計	3,567	3,797
資産合計	8,156	8,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,058	2,042
短期借入金	845	523
未払法人税等	205	168
賞与引当金	107	129
その他の引当金	7	4
その他	263	531
流動負債合計	3,488	3,401
固定負債		
長期借入金	2,339	2,741
退職給付引当金	91	90
役員退職慰労引当金	74	77
その他	30	22
固定負債合計	2,536	2,932
負債合計	6,025	6,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	281	281
資本剰余金	184	184
利益剰余金	1,653	1,660
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,119	2,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	6
その他の包括利益累計額合計	11	6
純資産合計	2,130	2,132
負債純資産合計	8,156	8,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,734
売上原価	5,032
売上総利益	701
販売費及び一般管理費	474
営業利益	226
営業外収益	
受取利息及び配当金	1
受取賃貸料	8
その他	3
営業外収益合計	13
営業外費用	
支払利息	9
投資不動産管理費用	4
その他	2
営業外費用合計	15
経常利益	223
特別利益	
固定資産売却益	1
投資有価証券売却益	10
満期保険戻戻金	8
特別利益合計	20
特別損失	
減損損失	13
投資有価証券評価損	0
特別損失合計	13
税金等調整前四半期純利益	231
法人税、住民税及び事業税	163
法人税等調整額	△13
法人税等合計	150
少数株主損益調整前四半期純利益	81
四半期純利益	81

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		81
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		△5
その他の包括利益合計		△5
四半期包括利益		75
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		75

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	231
減価償却費	67
減損損失	13
のれん償却額	132
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	9
満期保険戻金	△8
固定資産除売却損益 (△は益)	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	146
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15
その他	△22
小計	508
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△9
法人税等の支払額	△201
法人税等の還付額	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	338
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却及び償還による収入	19
有形固定資産の取得による支出	△143
投資不動産の取得による支出	△21
投資不動産の売却による収入	8
その他	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△280
長期借入れによる収入	600
長期借入金の返済による支出	△240
リース債務の返済による支出	△11
配当金の支払額	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188
現金及び現金同等物の期首残高	2,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,323

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	調剤薬局事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,418	2,315	5,734	—	5,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9	9	△9	—
計	3,418	2,325	5,744	△9	5,734
セグメント利益	429	3	432	△206	226

(注)1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディカルサポート事業」セグメントにおいて、処分を予定している資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は13百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

前第3四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期累計期間に係る四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を掲載しております。

四半期損益計算書

	(単位：百万円)
	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,541
売上原価	3,042
売上総利益	498
販売費及び一般管理費	264
営業利益	234
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	0
受取賃貸料	7
受取保険金	1
その他	2
営業外収益合計	12
営業外費用	
支払利息	3
投資不動産管理費用	3
その他	0
営業外費用合計	7
経常利益	238
特別利益	
固定資産売却益	5
特別利益合計	5
特別損失	
固定資産除売却損	0
投資有価証券売却損	0
投資有価証券評価損	0
特別損失合計	1
税引前四半期純利益	242
法人税、住民税及び事業税	121
法人税等調整額	△7
法人税等合計	114
四半期純利益	128

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	242
減価償却費	58
のれん償却額	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	3
固定資産除売却損益 (△は益)	△5
売上債権の増減額 (△は増加)	△101
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△44
仕入債務の増減額 (△は減少)	202
その他	11
小計	412
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△3
法人税等の支払額	△184
営業活動によるキャッシュ・フロー	224
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△220
有形固定資産の売却による収入	30
投資不動産の取得による支出	△66
その他	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△108
リース債務の返済による支出	△10
配当金の支払額	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△55
現金及び現金同等物の期首残高	760
現金及び現金同等物の四半期末残高	704